◇ ＡＢベーシック　その７　再びＡＢミーティングのあり方 ◇

ＡＢベーシックでは、山行推進グループ「アルペンブルーメ」の活動理念を説明させていただいております。

今回は、再びＡＢミーティングのあり方です。

私がまだタンポポだったころ、不思議で仕方がない事がありました。

自分も行ってみたいと思うその山に、何人かが行くと聞いた時のことです。

「一体どこで計画が決まるのだろう？」

タンポポミーティングでも定例会でも、そういった話は聞きませんので、たぶん個人的に連絡しあって決まるのだろうと想像していました。

個人的に連絡しあっているのなら、「自分も行きたい」とはなかなか言い出せません。そのルートがバリエーションであったり、ハイグレードなルートであればなおさらです。

きっとその計画のリーダーの立場からいえば、誰でも誘えるというルートではない、という判断があったのでしょう。

個人的に声をかけてもらえない自分がふがいないのだから仕方がありません。しかしながら、タンポポ時代に一所懸命に山に行き、会務も御手伝いしたことも事実です。

「声をかけてもらえない」ことでタンポポで学んだことが生かされずに、そのまま忘れてしまうのは実にもったいないことです。そこで、自分から声をかける場所、計画を練る場所を作ろうと思いたちました。みずから発信しないことには何も変わらないと思ったのです。

ただ、忘れてならないのは「声をかけてもらえなかった事実」です。元気よく計画をたてても、実はそこは自分の力では行けないところなのかもしれません。

しかしその場合でも、「行けない」の一言で終わらせるのではなく、何が足りないのか？どういう練習をすれば行けるようになるのか？　を考える機会が欲しいと思いました。

また、どうしても行けないとしてもＡルートでは無理でもＢルートならば行けるという工夫もあり得ると思います。

そういった諸々のことを話あうことが、実に大切だと思います。

だから、アルペンブルーメではこれからも顔を合わせて話合い計画を立てていきたいと思っています。

おわり